NEWS RELEASE

KPPグループ

2025年5月1日

国際紙パルプ商事株式会社

「IKUMO やしお」に OJO⁺ペーパーターフが敷設されました

0～2歳児が転がって遊べる「ころころウッドルーム」に安全・快適さを提供

KPP グループホールディングスのグループ会社である国際紙パルプ商事株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：栗原 正）が販売する紙製の人工芝「OJO⁺ペーパーターフ」が、5月1日に開設された東京都品川区立八潮子育て支援施設「IKUMO やしお」内に敷設されました。0～2歳の乳幼児が転がったりして遊べる部屋「ころころウッドルーム」内に18平方メートルの「OJO⁺ペーパーターフ」が敷かれ、地域の子どもたちの安全で快適な遊び場として活用されます。

OJO⁺ペーパーターフが敷かれた「IKUMO やしお」内「ころころウッドルーム」の様子

「IKUMO やしお」は総合的な子育て支援と地域交流の場として、都営住宅の1階を改修して開設されました。主に乳幼児（小学校入学前までの子ども）親子の利用を想定しており、「ころころウッドルーム」のほか、ツリーハウスで木登りができる部屋や、絵本を楽しめる部屋などが用意されています。入館無料で誰でも利用できます。

「OJO⁺ペーパーターフ」は、マニラ麻から作った紙糸を原料とした人工芝です。紙の持つ吸放湿性（湿気を吸いやすく、乾きやすい性質）の特徴から、肌触りが優しく、安全で快適な遊び場として採用されました。人工芝に使っている紙糸は、繊維に対する安全性の基準「エコテックス」で、“3歳までの乳幼児の肌に触れても安全”という、最も厳しい「クラス1」を取得しています。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

国際紙パルプ商事株式会社　人事本部　コーポレート・コミュニケーション室

TEL: 03-3542-4169　email: kpp_cc@kpp-gr.com